

●京田辺市のパートナーシップから左記のササユリ観察ハイキングの案内が届きました。

10名の募集枠ですが、参加を申し込まれては
いかがでしょうか。里山農園でのササユリの
開花は昨年は6月2日と記録されています。
1本の茎に五輪が咲きましたが、その後イノ
シシに根元を食べられてしまいました。同地
域ですので今年も里山農園のササユリの開花
が楽しめると思います。

●ミツバチとシロメダカの観察会を18日（土）
に開催。

これまで何回かお知らせをしてきましたが10
家族31人の参加を得て開催することになり
ました。抽選の結果少数の皆さんには残念で
すが、お断りをしました。今回は第1回目でも
ありましたので、ご容赦をお願いいたしま
す。こうした取り組みを通じて生き物好きの
サークルが作られるきっかけになればと思っ
ています。

●翌19日（日）10:00から里山農園で「ヤマト
サンショウオの現地調査」を桜谷保之先生の出
席を得て実行いたします。

ここにもご参加いただいた皆様で“絶滅の恐
れのある生き物を保全しよう”というサークルが結成できることを大きな狙いにして開催させて
いただきます。関心のある方のご参加を求めています。

●「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会」の座談会が開催されて利用者との話に花が咲きました。

里山の会は「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会」の発足当時から参加して淀川流域圏の皆様と交流
を深めてきました。求めてきたものとは少し違ったものになった「さくらであい館」が建設され
ましたが、交流会の拠点の役割が果たせるような関係ががはぐくまれつつあります。5月12日
に行われた話題は「巨椋池の現在の状況を知る」ことで巨椋池の大規模な農家は自力で農業改革を
進められていますが、小規模農家は現在使用中の農業機械の老朽化や故障に追い込まれ、後継者
が考えられず、廃業する道の選択になる。また農地の所有者の半分近くは地元に住んでいない



遠隔地の人達で多様な意見があり、まとまった街づ
くりの方針が困難であるといった問題が説明されま
した。しかし、交通問題では道路が充実され、鉄道
設置を主張する声は聞かれなくなっているようで
す。次回は「巨椋池の在り方について」語り合いま
すので多くの皆様のご参集をお願いいたします。

京田辺市 環境ミニハイク

ササユリ観察ハイキング

コース

大御堂観音寺普賢寺 集合9:30 → 水取小学校跡
→ 藤林普山先生顕彰碑 → 水取司遺跡碑 → 普賢寺小学
校 → ササユリ園 → 大御堂観音寺(解散:12:30頃)



開催日:2024年6月1日(土) 雨天中止

集合:9:30 大御堂観音寺 鐘樓付近

解散:12:30頃 大御堂観音寺 鐘樓付近

定員:先着10名

その他:山道を通ります。長袖、長スボン、防水靴がおすすめです

申込方法:5月13日午前10時以降に電話で申し込んでください

申込・問合せ先:きょうたなべ環境市民パートナーシップ事務局

(環境課内 ☎64-1366)

